

訂正とお詫び

『日本スノーボード協会 スノーボード教程』(2025年9月発行・初版第1刷)で以下の訂正をいたします。

読者の皆様、および関係者各位に深くお詫び申し上げます。

2025年12月3日

ページ	項目	誤	正
P.8	外力とのバランス	②垂直抗力・向心力 ③遠心力	②垂直抗力 <u>③向心力(遠心力)</u>
P.13	スノーボードはなぜ曲がるのか？	根本原理は	根本原理 <u>となる力</u> は
P.14	ターンのメカニズム	ボードにかかるプレシャー	ボードにかかる <u>プレッシャー</u>
P.20	ターン弧に応じた回避	ターン弧に応じた回避	ターン弧に応じた <u>回旋</u>
P.23	左右運動	必要不可な要素	必要不可 <u>欠</u> な要素
P.23	上下運動	調整に不可な要素	調整に不可 <u>欠</u> な要素
P.27	ポジションとは？	スノーボードをするための態勢	スノーボードをするための <u>体勢</u>
P.30	リーン・リーンアウトとは？	通常は腰あたりを支点にした	通常は腰 <u>やヒザ</u> あたりを支点にした
P.30	リーン・リーンアウトとは？	トウサイドターンでは、ヒザを中心に	トウサイドターンでは、 <u>腰</u> やヒザを中心に
P.37	C注意標識 項目名	C注意標識	C <u>指示</u> 標識
P.38	ブーツ	保湿性	保温性
P.47	回転運動	回転運動	<u>回旋</u> 運動
P.144	パフォーマンススタイル	パフォーマンススタイル	パフォーマンス <u>ス</u> スタイル
P.150	インストラクターとして	「対人的魅力」	「 <u>人間的</u> 魅力」
P.158	レッスン	ステップアップ	<u>ステップ</u> アップ
P.159	技術体系 発展技術	運動の違いを知る、	運動の違いを <u>知り</u> 、
P.159	技術体系 応用技術	さまざまな技術習得	<u>目的や状況に合わせた技術を覚える</u>
P.171	観天望気	今日の雲模や	今日の雲模 <u>様</u> や